

アグリランド

とっぴ

2023年度号

BIZEN WAKE AKAIWA



岡山県備前県民局農林水産事業部
東備農業普及指導センター



目 次



もも産地の発展を支援します！	1～2
～白桃の担い手確保・育成と産地拡大～	
次代を担う力強い担い手を育てます～新規就農者の確保・育成～	3
ドローンセンシングによる水稻の収量・品質向上	4
水稻肥料のプラスチック被膜殻対策	4
水田農業研修会を開催～経営力強化に向けて～	5
オーガニックビレッジに向けて	5
白ねぎのネギアザミウマ対策	6
水田利用の夏秋なす産地！	6
天然型アブシシン酸による「ピオーネ」の着色向上対策	7
東備地域のぶどうのニーズを調査！	7
ステップアップ経営研修、専門家派遣	8
6次産業化の取組を応援します	9
しきみの切り枝に取り組みませんか	10
自給飼料生産で安定収量を得るには	10
各種表彰・受賞者の紹介 ～皆さん おめでとうございます～	11

もも産地の発展を支援します！

～白桃の担い手確保・育成と産地拡大～

J A晴れの国岡山岡山山東モモ部会では、新規就農者の確保、就農初期者の早期経営安定、安定生産技術の普及、産地規模の拡大、個別経営体の経営安定等の課題解決に取り組んでいます。ここでは、普及指導センターが部会や関係機関と連携して進めている課題の一部について紹介します。

○初心者講座の開催

普及指導センター職員とJ Aの営農指導員が講師となり、もも栽培初心者向けの講座を開催しています。通常のベテラン生産者向けの栽培講習会では説明しない、ももの基礎生理や細かな作業の手順などが学べるため非常に好評で、今年は26人が受講しました。

また、受講生を対象にクラウド（インターネット上の文書ファイル置き場）を整備し、ももの生育状況や気象、病虫害発生状況等の情報提供をしています。



初心者講座（ももの芽接ぎ講習）

○主要品種の生産安定

当部会は岡山県育成品種「白皇」の県下最大の産地となっています。しかし「白皇」は、食味は非常に良いものの、年によって裂皮・裂果等の障害による正品果率の低下が問題となっており、安定生産技術の確立が求められています。

そこで、農業研究所の最新の研究成果や普及指導センターで行っている現地実証結果等を生産者に紹介する研修会を摘果前と収穫前の2回開催するとともに、現地2か所で4種類の掛け袋を比較し、「白皇」に最適な掛け袋について部会と検討しました。普及指導センターは今後も「白皇」の安定生産に向けた技術の普及を進めます。



「白皇」研修会



「白皇」に適する掛け袋実証

○省力化技術の推進

近年は高齢化等による労働力不足を解消するためのスマート農業機器の研究や導入が進められており、当部会でも若手生産者を中心に関心が高まっています。

岡山県はももの収穫適期を栽培初心者でも簡易に判断できる音響振動装置（果実に振動を与え果実硬度を非破壊で測定する装置）の開発を大学等と連携して進めており、普及指導センターは生産現場での使用感を生産者から聞き取り、装置の改良点についてアドバイスをする等の支援を行っています。また、もも園で自律走行型草刈機の現地実証を行い、慣行の草刈り方法より省力化できることを確認しました。

これらの技術が現場で広く活用されるようになるにはまだ課題は多いですが、引き続きスマート農業機器の技術開発や普及を支援していきます。



「白皇」の熟度を音響振動装置で測定



自律走行型草刈機

○産地規模の拡大

白桃の生産供給体制強化のため、部会と関係機関は事業推進チームを結成し、新団地の整備を進めています。

昨年度に赤磐市斗有地区で3.4ha整備したもも団地について、一部で排水不良による苗木の生育不良が問題となり、普及指導センターは農業研究所等と協力して排水不良箇所の調査や技術対策について指導しました。

事業推進チームはこの整備事業を通じて、水田をもも園地に転換する際の課題を整理しその解決方法を確立することで、今後のもも園地造成に活かしていきます。



事業推進チーム会議



土壌の排水性調査

次代を担う力強い担い手を育てます ～新規就農者の確保・育成～

東備地域には、ぶどう、もも、なす、白ねぎ等、特色のある農産物の産地があります。新規就農者の掘り起こしに向け、三徳園や東京、大阪で行われた就農相談会や産地を訪問してもらう就農オリエンテーションの開催等、産地、市町、JAの関係機関と連携し就農希望者に東備地域の産地の魅力をPRし、新規就農者の確保に努めています。



新・農業人フェアに出展（東京）



農業体験研修修了式



就農オリエンテーション現地案内



農業体験研修中の研修生

本年度は相談を受けた就農希望者のうち3人（ぶどう、もも、なす各1人）が、本格的に就農する準備を進めるために、新たに希望する産地で技術を習得する研修を受けています。

普及指導センターでは、就農希望者が産地でスムーズに就農できるように受入体制の充実強化を図りながら新規就農者の確保に努めるとともに、引き続き、就農前の研修や就農後の経営安定について支援していきます。

ドローンセンシングによる 水稲の収量・品質向上

近年、温暖化による夏季の高温で未熟粒などが発生し、水稲の収量・品質が低下しています。対策として生育診断に基づく施肥が有効ですが、大規模になるほど追肥の要否を判断する生育量の把握や作業の負担が大きくなっています。

そこで、短時間で広範囲の生育量を把握できるドローン（センシングドローン）で追肥の要否を判定し、収量や品質を向上させる効果について現地実証をしました。

本年度は、追肥が不要の判定で、いずれの区も収量と品質は良好でした。今後もスマート農機を活用した効率化を支援していきます。



センシングドローン



測定した画像（赤いほど生育旺盛）

水稲肥料のプラスチック被膜殻対策

肥料の表面をプラスチックで被覆している肥料は、水田から被膜殻が河川等に流出することがあります。

そこで、プラスチックを使用していない肥料を用い、水稲の中生・晩生の品種で栽培試験をしました。

本年度は、プラスチックを使用した被覆肥料と同等の収量と品質でした。引き続き関係機関と協力し、普及性を確認していきます。



肥料成分が溶出した後の被膜殻



実証ほ場（品種は「朝日」）

本年度の実証結果

品種	区	精玄米重 (kg/10a)	等級
きぬむすめ (中生)	プラスチック被覆肥料	626	1
	実証（硫黄被覆肥料）※	628	1
朝日 (晩生)	プラスチック被覆肥料	564	1
	実証（緩効性肥料）※	581	1

※プラスチック不使用の肥料

水田農業研修会を開催 ～経営力強化に向けて～

水稲経営を主体とする認定農業者や集落営農組織関係者を対象に、経営力強化を目的にした東備地域水田農業研修会を開催しました。

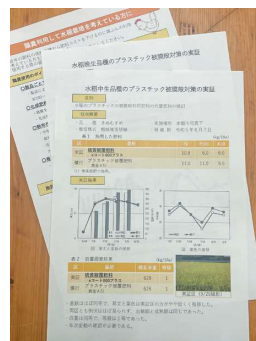
夏の研修では、東備地域の主要な水田活用の直接支払交付金の対象作物である飼料用米の栽培状況について情報提供しました。また、国税局職員から本年度から始まるインボイス制度について説明を受けました。

冬の研修では、肥料価格高騰対策などの普及指導センターが行っている実証ほの結果の紹介や水田のイノシシ、シカの被害防止対策など幅広い情報提供しました。

今後も研修会等を通じて、水田農業の経営力強化に役立つ情報を提供していきます。



研修会



実証情報

オーガニックビレッジに向けて

和気町は、有機農業の普及を目的に、技術習得に向けた研修会の開催や米や野菜の学校給食への利用推進など、有機農業に地域ぐるみで取り組んでいます。令和6年度には、県下初のオーガニックビレッジ宣言を行う予定です。

※オーガニックビレッジとは、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村のことをいいます。国は、2025年までに全国で100市町村を目標に推進しています。



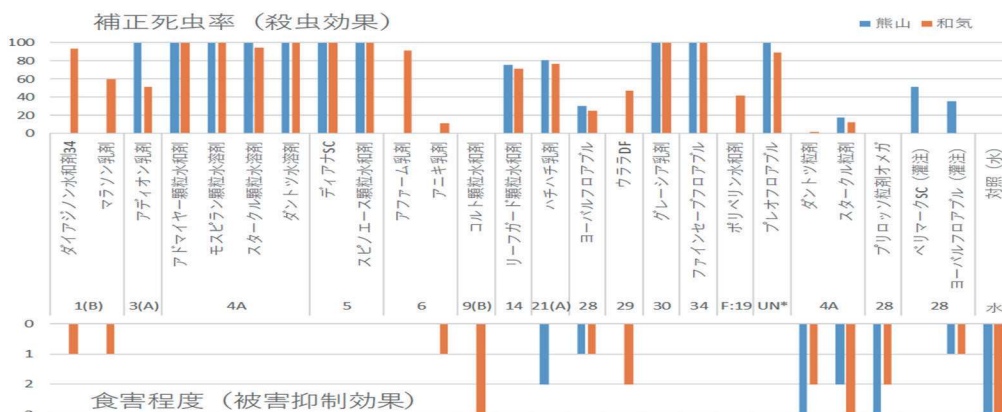
和気町有機田植えまつり



有機稲作教室

白ねぎのネギアザミウマ対策

本年度、農林水産総合センターと協力し、和気、熊山地区の白ねぎからネギアザミウマを採取し、各種殺虫剤の効果を調査しました。その結果、効果が高い剤が比較的多かった半面、効果が十分でない剤もありました。令和5年度は、高温・乾燥の影響でネギアザミウマが多い年でした。発生初期からの効果的なローテーション防除が大切です。



ネギアザミウマの被害

東備地域のネギアザミウマへの各殺虫剤の効果
(食害程度は数字が大きいほど食害が大きい。農薬名下の英数字は、剤の系統を示す。)

水田利用の夏秋なす産地！

J A晴れの国岡山岡山東統括本部管内には夏秋なすの産地がいくつかあり、毎年場所を変え管内全体の生産者を集めての現地研修会を行っています。

7月18日、普及指導センターとJ Aは夏秋なす産地の活性化と管内各産地の技術向上を図ることを目的に、赤坂地区のほ場で現地研修会を開催しました。

赤坂のなす部会長と普及指導センターが見学ほ場の栽培概要を説明し、栽培管理については場主と参加者で意見交換を行いました。現地研修後は、会議室に場所を移動し、今後の管理と販売についてそれぞれ普及指導センターとJ A全農おかやまから説明しました。

普及指導センターは、J Aと協力して夏秋なすを広域推進品目に位置づけて産地全体の活性化に取り組みます。



現地研修会



今後の管理について説明

天然型アブシシン酸による「ピオーネ」の着色向上対策

ぶどうの主要品種「ピオーネ」は、気候の温暖化で成熟期の高温による着色不良が問題となっています。そこで、着色促進に有効とされる天然型アブシシン酸の効果を検証するため、赤坂地区の簡易被覆栽培のピオーネを用いて実証を行いました。

その結果、供試区は着色がカラーチャート値で3上昇しました（通常は1～2程度）。

なお、使用条件（気象、着果量等）によっては期待した着色向上効果が得られない場合があるため、使用上の注意事項をよく確認してください。

引き続き関係機関と協力し、普及性を確認していきます。



収穫調査結果

区	果房重 (g)	果粒重 (g)	果皮色 (C.C.)	糖度 (Brix%)	酸度 (pH)
慣行区	466.9	12.3	4.9	18.8	3.7
供試区	440.9	14.7	7.9	18.7	3.7

収穫時の着色程度（上段：慣行区、下段：供試区）

東備地域のぶどうのニーズを調査！

普及指導センターは、7月24～25日に、大阪中央卸売市場で東備地域のぶどうを取り扱う卸売業者と仲卸業者を対象に、ぶどうの需要や産地の評価等についてアンケートと聞き取り調査を行いました。その結果、黒系ぶどうやプレミアム商品の出荷を増やしてほしいという意見や、ブランド力強化における選果の徹底が重要であるという意見等が得られました。

普及指導センターは、この調査結果を生産者や関係機関と共有し、市場ニーズに合った生産や販売に向けた協議を進めることで、東備地域のぶどうの産地力強化に繋がります。



市場での聞き取り調査



生産者へ市場調査結果報告

ステップアップ経営研修、専門家派遣

普及指導センターは、毎年、認定農業者等を対象に、経営管理、税務等を学ぶステップアップ研修会を開催しています。また、県農業経営・就農支援センターと連携して、経営研修会、個別経営相談、専門家派遣により経営改善を支援しています。

○普及指導センター主催の研修会

複式簿記の基礎学習・パソコン活用、確定申告・贈与税・相続税、労務管理など各種研修会を開催しています。次年度も同様に計画予定ですので、是非ご参加ください。

本年度の研修会

研修会	実施日
複式簿記の基礎学習	11月6日
パソコンでの複式簿記記帳	12月8日、1月19日
確定申告と税金	11月21日
雇用の確保と定着	12月20日
簿記記帳相談 (東備地域事務所)	12月11日、1月15日、 2月5日



複式簿記の基礎学習

○岡山県農業経営・就農支援センターの専門家派遣

法人化や経営継承等について、具体的に専門家の支援を希望される方は、普及指導センターへご相談ください。

- ・農業の法人化：今の経営内容で法人化すべきか？メリット・デメリットは？手続きは？
 - 経営診断を行い、就労面や販売面等経営全体を見て、法人化についてアドバイスします。
 - 手続きの仕方から法人化後の労務管理、税務について、必要に応じてアドバイスします。



専門家による経営相談

- ・経営継承：経営継承を考えているが、準備、タイミングは？

→ 資産の継承や税務上の手続きなど、経営状況を確認しながらアドバイスします。

支援内容の例

	農業の法人化	経営継承	経営診断・経営改善	雇用・労務	税務・財産
中小企業診断士	○	○	○		
税理士	○	○			○
社会保険労務士	○			○	
司法書士	○				

6次産業化の取組を応援します

普及指導センターは、6次産業化に取り組もうとしている農業者や、販路拡大を目指している農業者を支援するため、研修会や関係機関との情報交換会の開催、LINE公式アカウントによる情報発信をしています。

○6次産業化事業者のための研修会の開催

6次産業化事業者の加工技術や販売力の向上を目的に、加工技術研修会とDX研修会を開催しました。

加工技術研修会では、さつまいもの加工をテーマにさつまいも食品のトレンドや加工のポイントについての講義と焼き芋を使用したパンや飲料等の加工実習に取り組みました。参加者からはレシピや加工用機器への質問もあり、前向きな反応がみられました。

DX研修会では、ネットショップの種類や特徴、InstagramやGoogleの活用方法の講義とスマートフォンでの6次化商品の撮影や写真の編集、Instagramへの投稿等の実習に取り組みました。参加者からはSNSの継続やフォロワー増加のためのコツ等の質問があったほか、投稿の実践を通じて、SNS活用への手応えが感じられました。



さつまいもの加工実習



6次化商品の撮影実習

○関係機関との情報交換会の開催・LINE公式アカウントによる情報発信

6次産業化事業者の情報を関係機関で共有し、支援の方法を検討するために、「6次産業化連携会議」を開催しました。参加者からは、それぞれの地域で話題となっている取組や課題についての情報提供があり、活発な意見交換が行われました。

また、本年度より6次産業化事業者や関係機関への情報発信を強化するため、LINE公式アカウント「備前広域6次化ふえ」を開設しました。各種研修会や事業の案内、事業者の取組紹介等を随時発信しています。今後も6次産業化事業者の資質向上に役立つよう内容を充実させながら情報提供をしていきます。

普及指導センターは、今後も6次産業化に取り組む農業者について、関係機関と連携しながら支援を続けていきます。



意見交換する参加者



LINEでの情報発信

しきみの切り枝に取り組みませんか

しきみは、仏壇やお墓に供えるため年間を通じて安定した需要があり、特に盆や彼岸、年末年始の需要は多く、さらなる出荷が求められています。

東備地域では古くから中山間地の山林で広く栽培されていますが、その多くが傾斜地のため管理が難しく、高木化しているため作業効率が悪くなっています。

そこで、普及指導センターは平坦地に新規に苗を定植する低木仕立て栽培や、高木となった株を切り戻す低木への切り下げ栽培についての研修会を開催するとともに、切り下げ栽培のマニュアルを作成し、省力化による出荷拡大を進めています。



栽培研修会



切り下げ栽培マニュアル

自給飼料生産で安定収量を得るには

自給飼料生産で安定収量を得るには、栽培する地域の土地や気象等に応じた品種を選定し、その品種の推奨される栽培方法に沿って栽培管理を行うことが大切です。また、定期的に土壌診断を実施し、作目に応じた施肥を行うなど、土づくりに努めましょう。



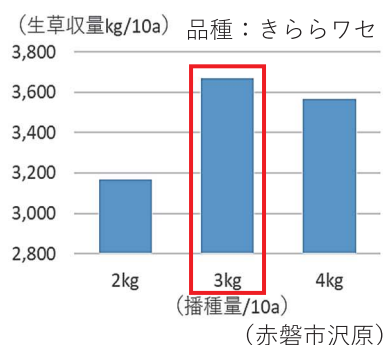
自給粗飼料の給与

1 適正播種量について

増収のため、推奨される播種量より多く播く事例が見られますが、イタリアンライグラスについて、異なる播種量による収量への影響に関する実証試験を実施したところ、推奨される播種量（3 kg/10a）より多く播いても収量は上がりず、推奨される播種量で十分な収量が得られました。

2 土壌診断を行うメリット

土壌の pH や養分状態などを測定することで、足りないもの・過剰なものを明確にすることができます。そのため、必要な肥料の種類・量を効率的に施肥することができ、肥料費を節減できるとともに、安定した収量を確保することができます。



播種量別収量の比較

※栽培管理や土壌診断等についての詳細は、備前県民局畜産班にご相談ください。対象作物・土壌に応じた自給飼料の生産方法をアドバイスします。

各種表彰・受賞者の紹介

～皆さん おめでとうございます～

(第70回) 矢野賞

橋本彰宏 (赤磐市)

民間企業勤務を経験して、平成26年に新規就農し、地域でいち早く契約キャベツ栽培を開始、数年で県内有数の栽培規模になりました。令和2年に法人化し、条件不利地も含めた農地の借受けや、水利組合の活動に尽力するなど、卓越した行動力で産地の活性化に大きく貢献されています。



(第63回) 岡山県農林漁業近代化表彰 株式会社穂々笑ファーム (赤磐市)

堀内由希子代表取締役は平成21年に農業へ新規参入し、徐々に経営を発展させ平成30年に法人化しました。赤坂地区を中心に水稲、業務用野菜の栽培に取り組み、また、水稲作業受託をとおして地域農家の営農継続にも尽力されています。



(第56回) 岡山県農林漁業功労者表彰

岡山県農林水産部長表彰

片岡郁雄 (和気町)

和気町佐伯地区で、水稲・ぶどう・白ねぎの複合経営を行われています。JA晴れの国岡山佐伯ブドウ部会副会長として、担い手育成や安定生産技術の普及に取り組まれています。また、(農)佐伯営農組合代表理事として水田農業の維持・発展に尽力されています。



令和5年度岡山県うまいくだもの共進会

(シャインマスカット、マスカット・オブ・アレキサンドリア共進会)

【シャインマスカットの部】

○岡山県農業共済組合組合長賞
高野 純司(赤磐市)

○うまいくだものづくり推進本部長賞
[優秀賞]坪本 真一(赤磐市)
[奨励賞]服部 邦彦(赤磐市)



左から高野純司、坪本真一、服部邦彦

※敬称は省略させていただいております。

岡山県備前県民局農林水産事業部

東備農業普及指導センター

〒709-0492

岡山県和気郡和気町和気 487-2（備前県民局東備地域事務所 2F）

TEL : 0869-92-5176（担い手・農産班）

0869-92-5177（園芸班）

FAX : 0869-92-0524

e-mail : tobi-fukyu@pref.okayama.lg.jp

担い手・農産班：米麦などの穀類、担い手育成、集落営農について

園芸班：果樹、野菜について



東備農業普及指導センターHP

備前広域農業普及指導センター

〒700-8604

岡山市北区弓之町 6-1（備前県民局 3F）

TEL : 086-233-9845（革新農業推進班）

FAX : 086-224-1187

e-mail : oka-fukyu@pref.okayama.lg.jp

革新農業推進班：花き、6次産業化、農業経営や制度資金について



備前広域農業普及指導センターHP

農畜産物生産課

〒700-8604

岡山市北区弓之町 6-1（備前県民局 3F）

TEL : 086-233-9828（畜産班）

FAX : 086-232-5532

畜産班：畜産振興、畜産環境保全について